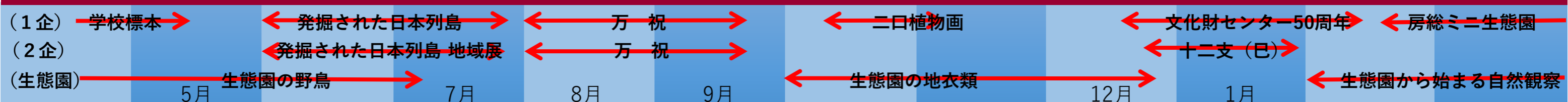


千葉県立中央博物館 令和6年度 展示計画



他機関と連携し最新情報を伝える展示 | 千葉の海の魅力を紹介する展示 | 収蔵資料を紹介する展示 | 研究員の研究成果を紹介する展示

一般入館料 600円

文化庁合同特別展示 発掘された日本列島2024

会期：令和6年6/8～7/15
内容：近年注目された出土品を全国巡回する文化庁主催の速報展です。同時開催する千葉県の地域展では、令和3年に寄贈された千葉県指定有形文化財の大多喜町台古墳出土「半円方格帯神獣鏡」を展示します。戦後初の公開となります。

一般入館料 800円

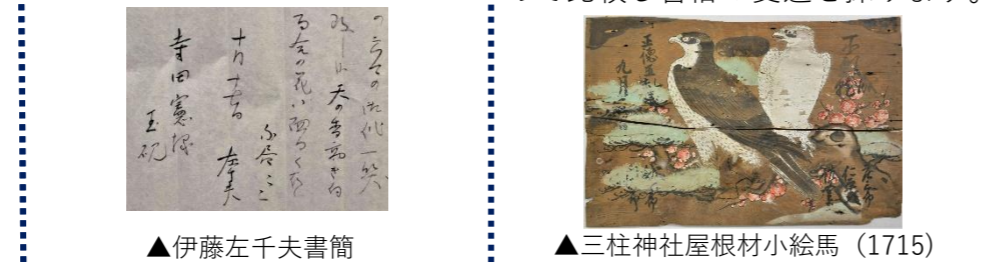
特別展 万祝博覧会 ～海をまとう～

会期：令和6年7/27～9/29
内容：大漁の祝として網元から漁師に配られた晴れ着、万祝。その文化は房総半島で発祥し、東日本の太平洋沿岸地域に広がったとされています。千葉の漁労文化の象徴ともいえる万祝について、歴史的な背景やデザインに至るまで様々な視点から紹介します。



▲万祝 館山市立博物館蔵
トピックス展 10/19～11/17
近代文学を支えた
寺田憲とその周辺

内容：神崎町の醸造業、寺田本家の20代当主であった寺田憲は、明治から昭和初期にかけて多くの文人達と交流し財政・精神の両面で彼らを支えました。伊藤左千夫や長塚節らが憲に宛てた書簡から房総の近代文学史がうかがえます。



▲伊藤左千夫書簡 ▲三柱神社屋根材小絵馬 (1715)

一般入館料 300円

秋の展示 二口善雄 植物画展

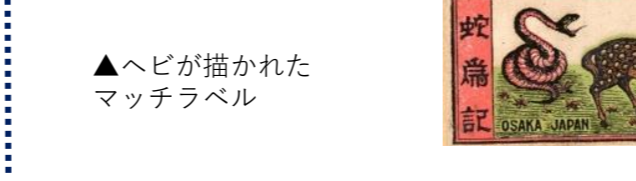
会期：令和6年10/12～11/24
内容：当館所蔵の『ばら花譜』、文部省理科図集等の原画は3,250点を数え、日本の植物画家の草分けである二口善雄最大のコレクション。鎌ヶ谷市在住だった氏が生前、当館にバラの研究者がいることを知り、寄贈されました。植物画を描く人なら誰もが一度は見たいと思い、初めて見る人にも植物への関心を強く抱かせる作品群です。



『ばら花譜』原画
タカネバラ (二口善雄 昭和51年)

トピックス展 十二支にちなんで —巳年—

会期：令和6年12/24
令和7年1/26



▲へびが描かれたマッチラベル

一般入館料 300円

春の展示 房総のミニチュア『生態園』 ～日本初のエコロジー・パークの35年～

会期：令和7年2/22～6/8
内容：国の畜産試験場の跡地に房総の代表的な木や草を植え、一から生態系を造った生態園。都市の中に造られた自然は35年でどのように変化してきたのでしょうか。この森を造り、その変化を人知れず調べ続ける研究員たちの、時に地道、時にユニークな活動にスポットを当てて紹介します。生態園トピックス展を同時開催します。



▲生態園での調査風景 (野鳥調査)
▲生態園での調査風景 (昆虫調査)

トピックス展 地中からのメッセージ ～旧石器・縄文・弥生～

一公益財団法人千葉県教育振興財団
設立50周年記念展 part 1-

会期：令和6年12/21
令和7年2/9

内容：設立50周年を迎えた教育振興財団(文化財センター)が発掘した選りすぐりの考古資料を展示します。

生態園トピックス展

- ・生態園の地衣類
- ・春の展示連携展示
- 生態園からはじめる房総の自然観察